

平成29年度 北海道植物学会大会及び総会

日時 12月20日(水)

会場 北海道大学理学部5号館 301号室 14:30開場

プログラム

- 14:40-14:45 はじめに 長里 千香子(北大・FSC)
講演会
- 14:45-15:00 ○岸本育也・三上浩司(北大・院・水産) (座長:藤田 知道)
「原始紅藻ウシケノリにおけるストレス記憶に基づく高温耐性能獲得」
- 15:00-15:15 ○田谷賢祐・三上浩司(北大・院・水産) (座長:藤田 知道)
「オーキシンによる紅藻スサビノリ糸状体の先端生長制御」
- 15:15-15:35 ○Tatyana A. Klochkova (Kamchatka State Technical University)・
Gwang Hoon Kim (韓国・公州大学) (座長:長里 千香子)
「Parasitic oomycetes that infect marine red algae」
- 15:35-15:55 市原健介(北大・FSC) (座長:三上 浩司)
「緑藻アオノリの性染色体領域の発見と生殖型の進化」
- 15:55-16:15 WAKEMAN Kevin(北大・国際連携機構・理学院兼務) (座長:三上 浩司)
「Evolutionary (photosynthetic) history of early apicomplexans and their bizarre relatives」
- 16:15-16:25 休憩
- 16:25-16:40 Pongthai Prapaporn(北大・院・生命科学) (座長:尾之内 均)
「Effect of environmental stresses on cell morphology and chloroplast division in the moss, *Physcomitrella patens*」
- 16:40-16:55 相原いづみ(北大・院・環境科学) (座長:尾之内 均)
「シロイヌナズナホウ酸輸送体BOR1のホウ素濃度依存的な翻訳制御とその生理的意義」
- 16:55-17:10 船川寛矢(北大・院・環境科学) (座長:伊藤 寿)
「ガラクトuron酸転移酵素GAUT10変異はシロイヌナズナのホウ素要求量を低下させる」
- 17:10-17:30 山下由衣(北大・農学研究院) (座長:伊藤 寿)
「翻訳アレストによる植物栄養センシングの分子機構」
- 17:30-17:50 ○隅田明洋(北大・低温研)・宮浦富保(龍谷大・理工)・渡辺力(北大・低温研)
(座長:露崎 史朗)
「針葉樹林の葉量は過去数年の気象の影響を受ける」
- 17:50-18:10 森川正章(北大・地球環境科学院) (座長:露崎 史朗)
「次世代バイオマス浮き草の魅力と微生物共生作用」
- 18:20 - 総会
- 19:00 - 懇親会(理学部5号館305号室)

講演会は、植物学会会員に関係なく参加いただけます。ご自由にご参加下さい。

また講演会後の懇親会に参加を希望される方はプログラム開始前に会場受付で1000円をお支払いください。
釣り銭のないようお願いいたします。

北海道植物学会ホームページ <http://hosho.ees.hokudai.ac.jp/~bsjhok/top/congress.html>

問い合わせ先

藤田 知道(全般) TEL: 011-706-2740 E-mail: tfujita@sci.hokudai.ac.jp
綿引 雅昭(交流会) TEL: 011-706-4473 E-mail: watahiki@sci.hokudai.ac.jp